

ごあいさつ

風薫るさわやかな季節となりました。ここ深町は、三原市の東北端に位置し、東は尾道市美ノ郷町、南東は尾道市久山田町、南は尾道市吉和町、西は三原市中之町、北は三原市八幡町に境を接しています。海拔は、94メートルで、周囲を四季折々に変化する山々に囲まれた静かな場所であり、学校のすぐ前には八幡町本庄の御調坂を源流とする藤井川が流れています。

保護者の皆様、地域の皆様には、平素より本校教育活動に深いご理解と温かいご支援をいただいております。豊かな自然と温かな人々に囲まれた中、縦割り班活動での異学年交流等、小規模校の特性を生かした教育活動を進めております。

さて、4月に1名の新入生を迎え、全児童14名で令和8年度の深小学校が出発しました。児童は、それぞれ1学年ずつ進級しましたが、新学期の様子を見ると、児童一人一人に今年にかけの意気込みを感じます。

昨年度、本校はコミュニティ・スクールとなり、多くの保護者・地域の皆様に、大変お世話になりました。おかげで、学校教育目標「夢と志を持ち、共に高め合う児童の育成」、新たに設定しためざす子ども像「自分と人を大切にする子」「挑戦する子」「ふるさと深をあいする子」に向けて、大きく前進した年になり、感謝の気持ちでいっぱいです。本年度も、子供たちが、自分や友達を大切にしながら、さまざまな事に挑戦し、ふるさとを愛する児童に成長していくよう、保護者・地域の皆様のサポートを受けながら、教職員一丸となって尽力していく所存です。

子供たちが「深小学校に通ってよかった」、保護者の方が「わが子を深小学校に通わせてよかった」と思っていただけ、また、地域の方からエールを送っていただけの学校をつくっていきます。

本年もこれまで同様、本校教育への深いご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年4月

三原市立深小学校
校長 加藤 法子